

英語科学習指導案

日 時 平成26年10月15日(水) 5校時
対象学級 3年A組男子18名女子11名計29名
場 所 3年A組教室
授業者 教諭 鈴木俊文 講師 木村香菜

1 単元名

My Project 8 伝統文化を説明しよう (Sunshine English Course 3)

2 単元について

(1) 教材観

この教材は、地域の行事や祭りなどを既習事項を用いて説明できるようになることを目標にしている。そのためにモデル文の構成を分析し、大切な情報を正しく伝えることに重点を置いている。3年生なので、今まで学んできたことを整理し、活用する言語活動として原稿を暗記してのスピーチではなく、キーワードをもとに口頭で説明をするプレゼンテーションを行わせる。

(2) 生徒観

全体として英語に対する苦手意識と学力差の大きい学年である。昨年度の学習定着度状況調査アンケートでは、「英語学習の必要性」に関する項目は、県比-12ポイント、「英語の授業がわかる」については-20ポイントという結果であった。

このような状況で、少しでも生徒の英語学習への抵抗感を減らし自信を持たせたいと考え、既習事項の復習として絵から英文をつくらせたり、基本文型を定着させるために対話文を暗記させたりする活動に継続して取り組んできた。また、活動はペアや小グループを基本とし、学力差があっても助け合って課題に取り組める工夫をしてきた。

今年度校内で行ったアンケート結果では、「英語学習の必要性」に関する項目は、昨年度から14.5ポイント、「英語の授業がわかる」についても21.1ポイント上昇し、県比較でプラス域まで回復した。しかし、英語に対して前向きな生徒が増えてきたとはいえ、諸テストなどの結果には多くの課題が見られ、さらなる対策が必要である。

(3) 指導観

My Project は、通常の課である PROGRAM で学習したことと既習事項を活用して、統合的な言語活動を行う単元である。ここでは、PROGRAM 7 の題材である日本文化紹介や、後置修飾を意識させながら、日本の伝統文化(年中行事)について口頭で説明させる。モデル文から読み取ったこと(キーワードのマッピング)をもとにして、友だちに口頭で説明することになるので、「読んだことについて話す」活動になる。

モデル文の読み取りと発表の準備、練習を小グループで助け合うことで、どの生徒も一人で発表できるところまで頑張らせたい。

3 本校の研究との関連

主体的に学習に取り組む生徒の育成 ー学びあいを取り入れた授業改善の工夫ー

英語科でいう主体的に学習に取り組むとは、「未習事項があっても、コミュニケーションを成立させるためにあれこれと考え、よりよい方法を見つけ、伝え続けることまたは学び続けること」ととらえた。その学習過程の中で、小グループ活動を取り入れることで、問題解決をしやすくすると同時に、より学び続ける意欲を持たせること

ができると考える。

4 単元の目標

(1) 目標

- ①日本の伝統文化について、キーワードをもとにして口頭で説明する。
- ②モデル文となる説明文の大切な部分を正しく読み取る。
- ③マッピングの情報が相手に伝わるように話そうとしている。
- ③マッピングを用いて、英文で説明できる。

5 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度 (ア)	外国語表現の能力 (イ)	外国語理解の能力 (ウ)
①マッピングの情報が相手に伝わるように話そうとしている。 【西南中CAN DOリスト 話すこと(2)】	①マッピングを用いて、口頭で英文をつくり伝統文化について説明できる。 ②文章構成に注意して、説明文をまとめる(書く)ことができる。	①モデル文の大切な部分を正しく読み取ることができる。

6 指導計画と評価規準

時間	○ねらい ・学習活動	単元の 評価規準	評価方法
1	○モデル文を読み取り、マッピングし、他の人に説明する。 ・ハロウィーンの内容を理解し、他の生徒に伝える。 ・他の生徒に評価をしてもらう。	ウの① アの①	・後日ペーパー テスト
2 本時	○担当する日本文化について、マッピングし、他の人に説明する。 ・情報の選択(担当行事) ・他の生徒に評価をもらう。	アの① イの①	・活動の観察 ・パフォーマンス テスト(後日)
3	○前時に話した内容を、書いてまとめる。 ・口頭で行った説明をもとに、英文を書く。 ・文章構成に注意して説明文を書いてまとめる。 ・辞書を活用する。	イの②	・記述 (ワークシート)

7 本時の指導

(1) 本時の目標

マッピングを利用して、日本の伝統や文化を口頭で説明する。

(2) 展開案

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 ◇ 評価	言語活動	学習 形態
導 入 8	1 あいさつをする。 「学習の約束」 2 Warm-up 絵を見て、状況を英語で説明する。 (1文つくる。)	・自分の状況にあったあいさつをさせる。 ・個からグループへと広げる。 ハロウィーンに関する絵を用いて、前時の学習内容を引き	話す グループA	

分	3 学習課題を把握する。	出す。		
	日本の伝統や文化についてメモだけを見て友達に説明しよう。			
展開 35分	<p>4 モデル文の読み取り</p> <p>①モデル文を読んで概要を把握する。</p> <p>②キーワードを選び、マッピングする。</p> <p>③自分のことを記入しマップ完成</p> <p>5 使える表現の復習</p> <p>6 練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で練習 ・リハーサル① ペア A ・リハーサル② ペア B <p>7 プレゼンテーション</p> <p>①代表者が他グループで発表→評価してもらう</p> <p>②評価をグループに持ち帰り、検討する。</p> <p>③ ①②を繰り返す</p>	<p>・8グループに対して、8つの伝統文化を準備する。</p> <p>・次の4つの項目でマッピングさせる。</p> <p>・マッピングしながら語句の読み方や意味をグループ内で確かめあう。</p> <p>A 名称・時期</p> <p>B 由来</p> <p>C 風習</p> <p>D 自分</p> <p>・それぞれの項目を説明するために使える表現を板書しておく。(ヒントがほしいときは見てもよい)</p> <p>・声の大きさを注意、ジェスチャーも入れてよい。</p> <p>・アドバイスし合う。</p> <p>・評価の観点を意識させる。</p> <p>・プレゼンテーション</p> <p>◇ T1 と T2 でグループを分担し、発表の様子を観察する。</p>	<p>グループ A</p> <p>読む</p> <p>話す</p> <p>グループ B</p> <p>聞く 話す</p> <p>個人</p>	
終末 5分	<p>8 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価をする。 <p>9 次時の学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話した内容の英作文 <p>10 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日学んだことについて自分の言葉で評価させる。 ・パフォーマンステストへの見通しを持たせる。 ・あいさつ 		

- (3) 資料 I
 本時のWarm up 絵
 資料 II 学習 (マッピング) シート、自己評価カード
 別紙参照

(4) 伝統文化 (マッピング材料)

別紙参照

- ①お正月 ②成人の日 ③節分の日 ④ひな祭り
- ⑤子どもの日 ⑥七夕 ⑦お盆 ⑧大晦日

(5) 板書計画

学習課題

日本の伝統や文化について友達に説明しよう。

授業の流れ

Warm up

Today's Goal

Reading マッピング

Practice プレゼン

Look back 自己評価

- _____
- _____

名称・時期

- _____由来 自分・ _____
- _____

風習

- _____
- _____